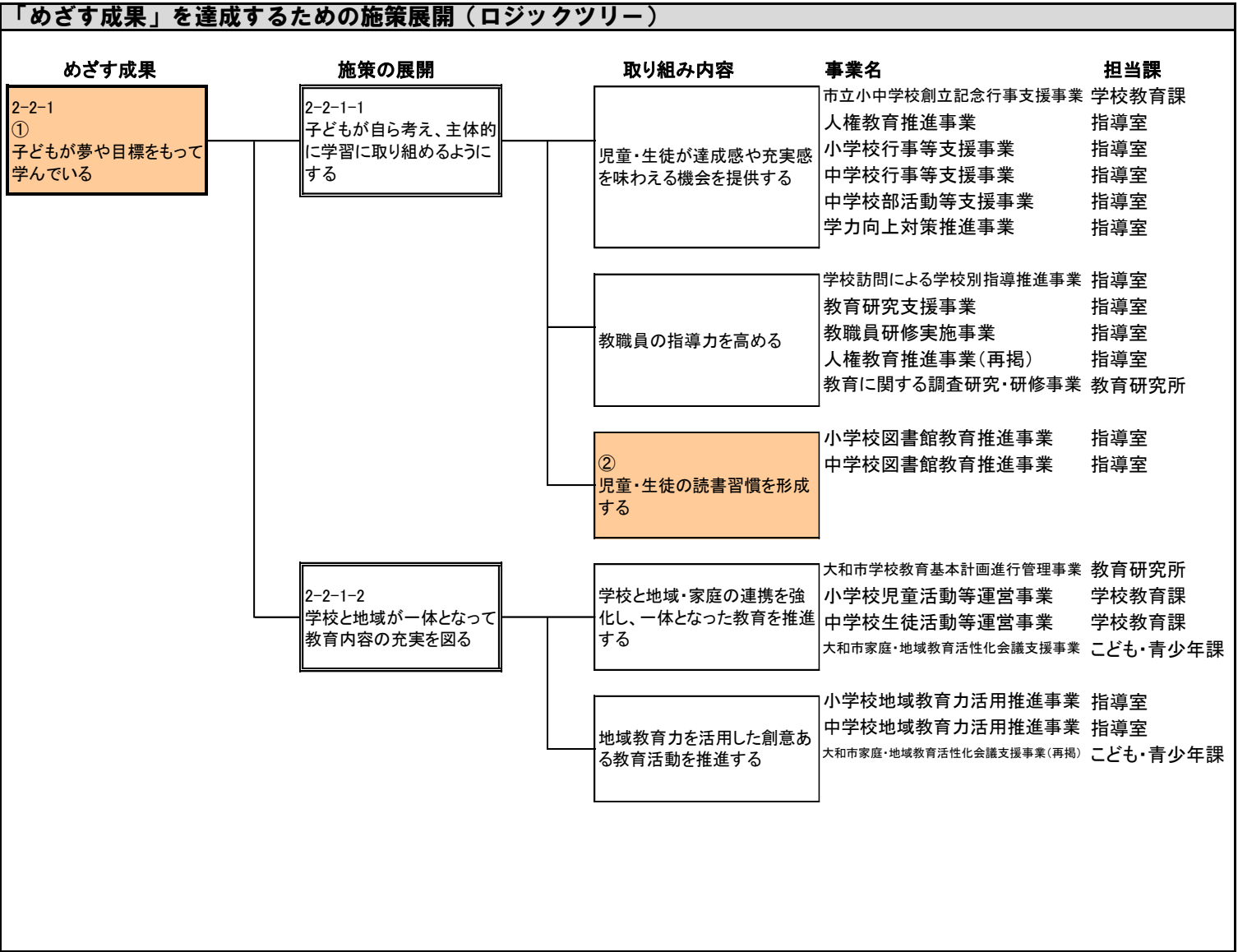


平成28年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
2-2-1 子どもが夢や目標をもって学んでいる		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・子どもが生き生きと育つまち
	個別目標	子どもの生きる力を育む
	めざす成果	子どもが夢や目標をもって学んでいる
		一人ひとりの子どもが、自分と他者を認め合いながら、夢や目標をもって学んでいます。



所 管 部	教育部
平成27年度までの取り組み内容	【子どもが自ら考え、主体的に学習に取り組めるようにする】 ・学校図書館が、「読書センター」だけでなく、「学習センター」「情報センター」としての役割も果たせるよう、蔵書率を維持しながら、蔵書の新鮮度を高め、充実を図りました。 【学校と地域が一体となって教育内容の充実を図る】 ・児童の学力向上を図るため、放課後子ども教室の開催日時に合わせ、学校の空き教室等を活用した放課後寺子屋やまを全小学校で開催し、宿題や自習など一人ひとりの児童のニーズにあわせた学習支援を行いました。また、教職員OBである同事業のコーディネーターが、教員の授業力向上のための支援を行いました。 ・放課後寺子屋やまについて、平成27年度は、パイロット校で全学年、それ以外の小学校については4～6年生を対象に実施しました。夏休みには、児童の学習習慣・基礎学力の定着を支援するため、全小学校において全学年を対象とした夏休み寺子屋やまを実施しました。
構成事業に対する考え方 (事業の量及び実施手法)	・学校図書館が有効に活用されるようS L S（学校図書館スーパーバイザー）、学校司書、図書館担当教諭を中心に、学校図書館システムを用いながら、蔵書の鮮度管理を含めた管理運用の工夫と周知を継続する必要があります。また、大規模改修事業や校舎の増築等にあわせて学校図書館をリフォームするなど計画的な視点で読書活動の場を活性化していきます。 ・貸し出し返却作業の利便性を高めるため及び児童生徒の図書検索のためパソコンの増設が必要です。 ・より効果的に教員の指導力向上を目指すため、悉皆の研修を改め、指導主事が直接学校に出向く訪問研修を実施していきます。また、今日の社会状況や学校教育に関する課題に対応した研修を実施していきます。
今後の展開方針	注) 例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。
新規事業の立案	・中学生の学力向上を目的とした、教育活動内および放課後における学習支援を行います。 (該当する事務事業) ・学力向上対策推進事業
既存事業の拡充	・平成29年度渋谷小学校の校舎改修に伴い、学校図書館をリニューアルします。 (該当する事務事業) ・小学校図書館教育推進事業
事業の廃止・縮減	(該当する事務事業)
事業の効率化	(該当する事務事業)
その他見直し	(該当する事務事業)

成果を計る主な指標	指標の名称		前期基本計画			後期基本計画				
			計画策定時 (H20)	最終目標値 (H25)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)	
	① 将来の夢や目標をもっていると答えた児童・生徒の割合	小5			92.4%	91.2%	90.1%	89.0%	89.0%	
		中2			70.6%	71.4%	75.4%	71.5%	72.0%	
	② 児童・生徒の1か月の平均読書冊数	小4～6			12.2冊	11.2冊	12.3冊	13.5冊	14.0冊	
		中1～3			3.3冊	3.7冊	4.6冊 ※中1,2のみ	5.8冊	6.0冊	